

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年8月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300282
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム だんだん
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町11番11号 (電話) 0994-36-8678
自己評価作成日	令和2年7月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年7月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は鹿屋市街地の中心部に位置し、地域のお祭りや行事への参加には恵まれた環境だと思います。町内会に加盟しており、地域の施設などでの行事にも参加させていただいています。大手町も昔からすると街並みも変わりましたがバスセンター、デパートといった利用者様方になじみの深い建物があつた地域でもあり散歩をしながら昔話をする事で昔を思い出せるいい場所であると思います。季節ごとに移り替わる花が咲くスポットにはドライブに行っています。現在はコロナウイルスの感染対策により行動に制限がかかっていますがコロナウイルスの状況を見ながら可能な範囲で利用者様が笑顔になってくれるようなケアを行いたいと心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は有料老人ホームやデイサービス・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所など、多くの福祉施設を運営し協力体制を築いている。
- ・町内会に加入し、地域行事の水神祭見物や子供神輿とのふれ合いを楽しんだり、法人合同のイベントでも地域との交流を図っている。
- ・職員の事業所内研修や各種研修会の受講を推進し、レベルアップを図っている。
- ・職員間のコミュニケーションが良く利用者の思いに添う支援に努めており、利用者の表情が明るくなごやかである。
- ・コロナウイルス感染症の影響で、利用者の外出支援が困難であるがメリハリのある暮らしができるよう工夫し、スイカを作り観察し、メダカを飼ったり、外気浴したり、暮らしの中に楽しみを工夫し取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	いつでも見れる場所に掲げ理念を共有できるようにしている。職員間、実践できるように、申し送り後などに理念の唱和を行い、アイデアを出し合いながら実務に取り組んでいる。	地域密着型の理念を重要事項説明書に掲載し、事務所に掲げている。申し送りやミーティングで振り返り、共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加盟し町内会の情報は得られ、回覧板を通じて近隣の方との交流を心掛けている。コロナウイルス感染の影響で町内会のイベントが中止になったり外での散歩なども出来ず、利用者様と地域との交流は途絶えている	町内会に加入し、地域の祭りやイベントに参加している。コロナウイルス感染予防の講習会にも出向いて手洗いや予防に心がけている。コロナウイルス感染症の影響で、地域との交流は控えている状況である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所のことは少しづつは認識されてきているが、事業所の力を生かした活動は実践できていない。今後、地域貢献できる機会を得るように努めたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染の影響で運営推進会議が実施できていない。報告書作成の際、行政や御家族の方に意見をお伺いしサービス向上に生かすように努めているが、イベント自体が中止になり活動が出来ない状態である。	運営推進会議はコロナウイルス感染症の影響で、集うことが困難の為、資料を送付して電話やメール・FAX等で運営推進会議を進めている。要望や助言を電話で話す等、工夫して取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市や協力機関からの通知やメールは欠かさず確認している。対応で不明な点は連絡させていただき確認しながら行っている。運営推進会議等を活用しもっと連携をとれるようにしたい。	市の担当者とは、メールで情報を受けたり、相談や助言を貰っている。運営推進会議でも連携を取っている。行政主催の研修会に参加し、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修会を実施し職員間で周知出来ている。日々のケアの中で気づいた事など、その都度話し合い身体拘束しないケアの検討を行い、利用者様の尊厳が保たれるように実践している。	身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に開催している。全体研修も定期的に行っている。ヒヤリハットを記録し、部署会やミーティングで対応を話し合っている。外出希望の時は、玄関先の畑を見たり、外気に触れて楽しむ等、拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケアする職員として虐待とせずしてしまいう行為、いわゆる慣れの無いように、常に意識するように努めている。また、日常の中での「言葉での行動の抑制」にも注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や他、個々で研修会などで知識がある職員はいると思われるが、個人的に詳しく学習する機会がなく理解できていない。今後、研修会などで学習していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は書面を通して十分な説明を行い利用者様、御家族の了承を得ている。不安や疑問点について話しやすいような環境であるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様は日頃の生活の中で、御家族の方からは、運営推進会議や面会の際などに意見や要望をお聞きすることが出来ている。現状、コロナウイルス感染の影響で面会制限を設けているため御家族との接触が出来ていない。今後何らかの形での意見交換の機会を設けることが出来るよう努めていく。	利用者からは毎日のケアの関わりの中で意見や要望を聞けるように努めている。家族からは面会時や手紙で近況や情報を伝えている。コロナウイルスの影響で、家族ごとにラインで対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、部署会や全体職員会を実施している。日頃から職員の意見や提案は聞ける機会もあり個人的にも管理者へ随時相談もできている。	日頃からコミュニケーションをとり、意見が言いやすい環境を整えている。毎月ミーティングの時に意見や提案を聞いている。業務の改善や記録の簡素化・ヒヤリハット等、意見は運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員からの意見を聞いたり現状把握しながら就業環境の整備を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内研修や各種研修の受講を推進し職員一人ひとりのレベルアップに向けて取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現況、コロナウイルス感染の影響もあり外部との接触が出来ず、同業者との関わりが持てていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>環境の変化による不安感をくみ取り安心できるように声掛けを行いながら慣れ親しんでいただけるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族からの話を傾聴し不安なくご利用していただけるように説明を行う。また、面会時などに話をする機会を設け関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まず、御本人と御家族のニーズの把握を行い必要なサービスを優先的に取り入れていき、グループホーム内でのサービスで完結できる範囲での内容としている。外部サービスは制限があるため取り入れていない。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>身体的な介護を行いつつ、ご利用者様には、それぞれ出来る範囲や得意分野での家事的な作業の、お手伝いをさせていただきながら共に協力していく関係を築けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナウイルス感染の影響で面会が制限されている状況だが、御本人と御家族が話せるように携帯電話を使いテレビ電話が出来るようにしている。希望時には実施し家族との絆を大切にす る工夫を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族との外出やドライブなど出来ていないため、馴染みの関係継続が困難な状況。ただ日頃から地域や出身地、家族の話などをしながら思い出していただけるように支援している。	コロナウイルスの影響がない頃は、地元の店に買い物やイベント参加・馴染みの場所へドライブ等に出かけて、馴染みの関係が途切れないようにしていた。美容室は訪問で対応している。電話で会話ができるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性もあり、又家事作業時に、お互い協力しながら出来る、いい関係性もあり席を決めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談が寄せられれば柔軟に対応できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話の中から希望や思いを見出せるように努めている。得た情報は職員間で共有し把握し今後の支援などを検討している。	日常の関わりの中で話しかけたり、夜間ゆっくりしている時や入浴の時に、思いや意向を把握している。「家に帰りたい」等の情報を、職員で共有し、家族と話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの情報については、情報の記録が十分に理解できていないため、今後、情報収集に努めたい。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態による変化を見逃すことの無いように状況の観察、職員同士の報告から現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	部署会で課題とケアの在り方などを話し合ったり、御本人の希望や御家族の意見などを取り入れたプラン作りを行っている。	本人や家族の意向を聞き、職員で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時はその都度見直しして、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録、食事、水分量、排泄、バイタル記録などを記入し職員間で情報を共有しながら、気づきや工夫を話し合い介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム内で支援できるサービスの範囲内で、食事の楽しみとして、お弁当を選んで頼んだり可能な限りニーズに対応して柔軟に行うように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>御家族の協力にて、かかりつけ医への受診や医療連携にて訪問看護、歯科の介入あり。町内会にも加入している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>それぞれの、かかりつけ医に基本、御家族対応で受診となっている。御家族の都合により職員付き添いで対応している。</p>	<p>かかりつけ医は本人・家族の希望を大切に継続し、受診は家族が対応している。症状を記入した手紙を持参している。家族が同行できない時は職員が付き添っている。協力医療機関の訪問診療が週に1回ある。緊急時は、24時間医療連携体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様が日常生活を送られている中でバイタルサインや身体に対する変化や気づきを職場内看護師、訪問看護に報告し医師への報告の必要性など検討し、かかりつけ医師への報告を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご家族への説明を行い入院先にサマリーの提出、状態の報告を行う。入院中も治療経過や状態の確認をおこない医師の指示のもと退院後の受け入れについて対応していく。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所としては看取りは行わない意向であるが施設内看護師、訪問看護、かかりつけ医師との連携にてグループホーム内で行える可能な限りの処置や治療はおこなう。状態変化や入院が必要と判断された場合はご家族と今後の方向性について検討している</p>	<p>重度化や終末期についての指針がある。緊急時の対応は重要事項説明書に記載している。状況が変化する毎に、ホームでできる限りの対応をしている。食事が摂れなくなり、医療的な措置が必要になった時は、家族と医師で話し合い方向性を検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は心肺蘇生法、AED使用についての研修は受けている。緊急時マニュアルを作成し緊急の対応へ備えている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難誘導訓練を実施している。緊急時連絡には町内会長への連絡も含め緊急時には協力をもらえるようお願いしている。水や食料の備蓄をしている。</p>	<p>避難誘導訓練を年に1回消防署から夜間想定で指導を受けている。自主訓練を1回実施している。町内会も毎回のように参加して貰っている。行政からの協力もある。災害用の備蓄は水・カンパン・ピラフ・ラーメン・缶詰等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員は利用者様の性格や認知症状を共有しそれぞれの利用者様に合わせた声掛けや対応を行っている</p>	<p>全体会議での研修や部署会議で、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。言葉遣い・入浴介助・トイレ介助等、羞恥心やプライドを傷つけないように努めている。申し送りの時は、利用者に関こえぬように配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常での会話や利用者様の発言などを職員間で共有し希望を叶えられる為になにができるかを検討している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れに合わせて利用者様それぞれに確認しレクなど強制ではなく自然と参加していただけるような声掛けを行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時は職員が洗顔、整髪、更衣の補助を行っている。利用者様には季節にあった衣服などアドバイスを行う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その時期の食材など利用者様に見ていただき季節を感じていただき調理法など会話し決めている。現在は副菜の盛り付けはしていただけている。	調理は職員で行い、利用者の嗜好や食事の形態に配慮して提供している。行事食としておせち料理、誕生日はケーキ、弁当を持ってお出かけする等、楽しむ工夫をしている。利用者がシソジュースを作ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の疾病や体格を考慮し医師にアドバイスをいただきながら目安としての食事量や水分量を決め個別化した量を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、各利用者様の口腔状態にあわせた口腔ケアを行っている。必要時は残歯の仕上げ磨き等のケアを行う。義歯の利用者様は夕食後義歯洗浄剤での消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各利用者様の排泄ペースや認知症状にあわせ失禁のある方は定期的な誘導を行いトイレでの排泄を促している。夜間は身体の状態に合わせてポータブルトイレ使用。トイレに行かれる利用者様には必要な範囲でケアを行っている。	個々の排泄チェック表で、排泄パターンを把握し、声かけしてトイレでの排泄を支援している。リハビリパンツから布パンツになった事例がある。夜間のみポータブルトイレを使用している利用者もいる。排泄の自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向のある利用者は医師に相談しそれぞれに合った緩下剤など処方していただいている。嚥下状態に合わせた食事形態の工夫、体操や運動への参加の声掛け促しを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1日おきに交代で午前中入浴を行っているが利用者様の状況や訴えに応じて入浴日の変更など行っている。入浴拒否の多い利用者様には声かけの工夫を行っている。	入浴は週に3回、午前中に体調や気分を考慮し、柔軟に支援している。足浴にも対応している。できるだけ希望に合わせて曜日変更などを行っている。入浴を嫌がる時は時間をずらしたり、声かけのタイミングを工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様が疲れや休みたいと訴えられた場合は日中であっても居室で休んでいただいている。居室の環境整備を行い夜間は利用者様の好む照明を職員間でも共有し安眠していただけるよう工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に対する注意点や受診し服薬に変更があった場合等、申し送り・申し送りノートでの共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者様の役割として洗濯、食事準備等を分担していただいている。畑仕事をされてきた利用者様には畑を見ていただいたり野菜の収穫時は報告を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その日の気分や希望に合わせて買い物同行、ドライブなどを行っている。日課としてのホーム周辺の散歩。御家族との外出支援</p>	<p>日常的な外出は近隣の散歩やドライブ・買い物などに出かけていたが、コロナウイルスの影響を受けて、散歩も自粛し、玄関先での外気浴をしている。メダカの生育を観察したり、菜園でスイカを栽培して楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭トラブル予防の為に金銭についてはご家族に説明のもと所持はしていただいている。必要なものはご家族にお願いしたり、代行での買い物を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様やご家族の希望に応じて対応しています。コロナ感染対策としてはスマホでのテレビ電話での対応もご家族に通知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただくために季節ごとに飾りを変えている。朝に日差しが入る窓には光を和らげるようなボードを貼り対応している。日常生活の中で利用者様の不満などの声を職員間で共有し検討を行い事例に対し対応していく	共用空間は天井が吹き抜けになって、明るく開放感がある。遮光に工夫をしている。ゆっくりくつろげるようにソファがある。七夕飾りや手作りの日めくりカレンダー・行事の写真等が壁に飾られ、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホームでの席は利用者様の希望・相性や認知症状を考慮し決めている。生活環境については今後も検討し改善していきたい		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご自分の作品や写真などを貼り楽しめるよう工夫している。御家族に寝具や家具を持ってきていただき落ち着いた環境になるよう努めている。	エアコン・洗面台・トイレ・クローゼットを設置し、家から持ち込まれた寝具・タンス・ぬいぐるみ・家族写真・時計・暦等、居心地よく過ごせるように工夫し設営している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれの利用者様の認知症状に合わせて出来ない部分、わからないことへのケアを行っている。本人に合った歩行補助具の使用。歩行付き添い、声掛け、説明等。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない